

増設メモリ

増設メモリ

1.概要

型名	製品名
N8102-129	64MB 増設メモリボード
N8102-130	128MB 増設メモリボード
N8102-131	256MB 増設メモリボード
N8102-132	512MB 増設メモリボード
N8102-96	128MB 増設メモリボード
N8102-97	256MB 増設メモリボード
N8102-98	512MB 増設メモリボード
N8102-105	1GB 増設メモリボード
N8502-100	256MB 増設メモリボード
N8102-101	512MB 増設メモリボード
N8102-102	1GB 増設メモリボード
N8102-103	2GB 増設メモリボード
N8102-104	4GB 増設メモリボード

2.機能仕様

	N8102-129	N8102-130	N8102-131	N8102-132
容量	64MB	128MB	256MB	512MB
仕様	SDRAM-DIMM			
動作クロック	100/133MHz			
駆動電圧	3.3V			
バッファ	有り			
増設単位	1 枚			

	N8102-96	N8102-97	N8102-98	N8102-105
容量	128MB	256MB	512MB	1GB
仕様	SDRAM-DIMM			
動作クロック	100/133MHz			
駆動電圧	3.3V			
バッファ	有り			
増設単位	1 枚			

	N8102-100	N8102-101	N8102-102	N8102-103	N8102-104
容量	256MB	512MB	1GB	2GB	4GB
仕様	SDRAM-DIMM				
動作クロック	100MHz				
駆動電圧	3.3V				
バッファ	有り				
増設単位	4 枚				

■ SDRAM(Synchronous DRAM)

従来のDRAMと比べて内部は基本的に同じであるが、外部バスインターフェイスが一定周期のクロック信号に同期して動作するように改良されたDRAM。

Pentium,Pentium II, Pentium , Pentium XeonなどのCPUも、その外部バスはクロックに同期して動くため、CPUとSDRAMのクロックを共通にすればアクセス時のロスを少なくできる。

SDRAMで高速化できるのは、1クロック毎にデータを転送するバーストモードである。従来のDRAMを利用する場合、Pentium,Pentium II ,Pentium , Pentium Xeonではバーストモード時にウェイトを挿入しなければならない事が多いが、シンクロナスDRAMを用いればノーウェイトでCPUのバーストモードに追従できる。ただし、バーストモードの最初のアクセスは速くならない。

3.注意事項

- ・ Express5800 シリーズ用に販売されている他社製メモリは動作保証の範囲外となるため、Express5800 純正品のメモリを使用すること。